

令和 8 年 9 月 〇 日

（宛先）公益財団法人京都高度技術研究所 理事長 様

所在地 京都市下京区・・・
名称 株式会社京都伴走
代表者 役職名 代表取締役社長
氏名 京都 太郎
電話 075-123-4567

京都市 AI・ロボティクス等導入検討伴走支援 申請書

下記のとおり京都市 AI・ロボティクス等導入検討伴走支援を受けたいので、京都市 AI・ロボティクス等導入検討伴走支援実施要綱第 5 条の規定により、関係書類を添えて申請します。

1 企業概要

業種	製造業	創業年月	〇〇年〇月〇日
資本金	10,000 千円	従業員数	〇名（内正社員 〇名）
事業実施場所 及び担当者	〒123-4567 京都市下京区		
	※事業実施場所は京都市内に限ります。 担当者役職・氏名 TEL：075-123-4567 〇〇〇部 〇〇課 主任 〇〇〇〇 E-mail：〇〇@〇〇 ※必ずご連絡が可能な連絡先を記入してください。		
主要取扱品・ サービス	〇〇〇（ 〇 %）	〇〇〇（ 〇%）	〇〇〇（ 〇%）
	（ %）	（ %）	（ %）
年間売上高	〇〇〇千円 （ 〇〇年 〇月～ 〇〇年 〇月）		
URL	https://www.〇〇〇.or.jp/		

事業内容 (取扱商 品・ サービス)	（事業概要、自社の強み、主な顧客、特徴について記載してください。） 〇〇の製造・開発・販売 〇〇メーカーを顧客として、当社が自社開発した〇〇技術を用いて、〇〇の 製品開発、生産、販売を行っている。併せて、〇〇の保守点検や補修サービスを 顧客に提供している。
	主な取扱商品として、 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇

住 所 (本社所在地)	〒〇〇〇- 京都市〇〇					
本社以外に事業所がある場合						
名 称		所 在 地			従業員数	
〇〇営業所		〒〇〇 〇〇県〇〇市・・・・・・・・			5 名	
〇〇工場		〒〇〇 〇〇県〇〇市・・・・・・・・			30 名	
		〒				
株主構成			主要取引先			
株主名	会社との関係	比率 (%)	販売先	比率 (%)	仕入先	比率(%)
京都太郎	代表取締役	70%	㈱〇〇	30%	㈱〇〇	20%
京都花子	取締役	30%	△△㈱	20%	==㈱	10%
			㈱△△	10%		
その他			その他	40%	その他	70%

2 関係書類

- (1) 企業概要がわかるもの（会社案内、カタログ等のパンフレットほか）
- (2) 直近3期分の決算報告書（貸借対照表、損益計算書）（写し）
創業後3期に満たない場合は創業後の期数分
- (3) 市税に関する納税証明書（写し） 直近年度分の京都市民税、固定資産税（土地・建物のみ）及び都市計画税の市税に関する納税証明書（発行後3ヵ月以内）（写し）
※令和8年1月1日時点において住所が京都市外の場合、他市町村の発行する納税証明書（写し）
- (4) 申請に係る申告書（所定様式）
- (5) その他当財団理事長が必要と認める書類

【検討構想書】

※様式は適宜、枠の幅を広げてご記入ください。

※第1号様式【別紙1】はA4サイズ6頁以内とします。

※[必須]と記した項目については、必ず記載してください。

※申請様式によりがたい場合は、以下の内容を踏まえた資料を提出してください。

※図や資料を用いて、分かりやすく記載してください。

■ AI・ロボティクス導入検討構想内容

(1) 現場・業務の概要 [必須]
*対象となる工場・拠点、製品や工程の概要、生産形態（例：受注生産、見込生産、多品種少量生産、量産など）、使用している主要設備・システム、現場の作業体制（作業人数・シフトなど）等を記載してください。
(2) 解決すべき自社の現場での課題 [必須]
*現在困っていることを具体的に記述してください。それによる影響や損失なども把握している範囲で記載してください。
(3) 課題の発生個所（業務の概要と工程および作業内容） [必須]
*課題が生じている具体的な工程名・作業名と、その作業内容を記載してください。
(4) これまでの対応状況
*課題に対してこれまで取り組んできたことがあれば、実施した対策とその結果を記載してください。
(5) 想定する AI やロボットの活用方法 [必須]
☐ 外観検査 ☐ 設備異常検知・予知 ☐ 熟練技術の継承 ☐ 手書き帳票の電子化 ☐ ロボットによる自動搬送 ☐ ロボットアーム ☐ その他 _____ *上記から選択のうえ、具体的な活用イメージがあれば詳しく記載してください。

(6) AI やロボットの導入により期待する効果【必須】 *AI やロボットの導入により期待する効果（定性面・定量面）について記載してください。
(7) データの保有状況 *AI やロボットの導入検討のために必要なデータを既に保有しているか、容易に取得できる状況であれば記載してください。例：良品・不良品の画像データをそれぞれ〇枚程度保有している、設備稼働状況は既設のセンサーから容易に取得できる、など
(8) 自社の推進体制【必須】 *簡単な推進体制図（オーナー／責任者／担当者）を部署名・役職入りで記載してください。また、担当者が本件検討（打合せ＋宿題対応）に割ける時間が、おおよそどのくらいあるか（〇日／月）を記載ください。
(9) 伴走支援への期待・その他 *今回の伴走支援への期待や、その他申請にあたって述べておきたいことがあれば、記載してください。